新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う対応について

**未曽有の事態において、刻々と状況が変化をしておりますが、
株式会社ノジマでは、全ての関係者の健康と安全に配慮しつつ、
事業継続や雇用の維持に向けて様々な取り組みを実施しております。**

1 営業の状況

2020年4月7日に政府から発令された緊急事態宣言を受けて、家電専門店ノジマでは183店舗のうち、最大約4割の店舗が休業となりました。その他の店舗についても、営業時間の短縮などの措置を実施しました。また、au、ソフトバンクショップ等のキャリアショップについても、出店施設の状況や各キャリアからのガイドライン をもとに、休業や短縮営業等を実施しております。

5月25日に全国で宣言が解除されたことを受け、一部短縮営業などがあるものの営業は再開しております。（6月1日時点）

2 店舗における対応、対策

営業店舗におきましては、事業継続をしつつも感染拡大を防止するために、次のような対応を講じました。

**1. 従業員の出勤時における検温義務付け
　37度未満の場合に限り勤務を認める措置を実施**

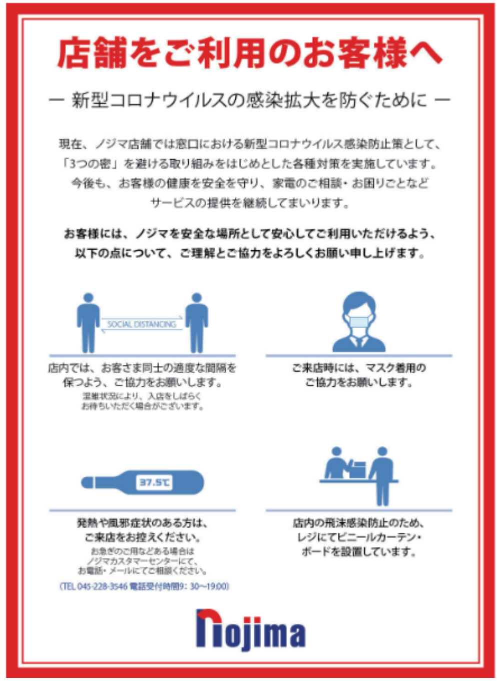
2. 従業員のマスク着用を義務付けやフェイスシールドの配備

**3. 接客時の飛沫感染防止
　レジカウンターでのビニールカーテン設置
　商談カウンター、テーブルでの透明アクリルパネル設置**

**4. 会計待ち列などにおける、ソーシャルディスタンス
　（社会的距離）の確保**

**5. ご来店の際における、お客様へのマスク着用や最小人数での
　お買い物を推奨**

その他、店頭に設置する消毒液の配備、店内の清掃及び有事の際の速やかな対処に向け、各備品等の手配は完備しております。



店舗をご利用のお客様へ

― 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために ―

現在、ノジマ店舗では窓口における新型コロナウイルス感染防止策として、
「3つの密」を避ける取り組みをはじめとした各種対策を実施しています。
今後も、お客様の健康を安全を守り、家電のご相談・お困りごとなど
サービスの提供を継続してまいります。

**お客様には、ノジマを安全な場所として安心してご利用いただけるよう、
以下の点について、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。**

店内では、お客さま同士の適度な間隔を
保つよう、ご協力をお願いします。
混雑状況により、入店をしばらく
お待ちいただく場合がございます。

ご来店時には、マスク着用の
ご協力をお願いします。

発熱や風邪症状のある方は、
ご来店をお控えください。
お急ぎのご用などある場合は
ノジマカスタマーセンターにて、
お電話・メールにてご相談ください。
(TEL 045-228-3546 電話受付時間9：30～19:00)

店内の飛沫感染防止のため、
レジにてビニールカーテン・
ボードを設置しています。

3 従業員への対応

ノジマグループでは職種や部門を問わず、発熱等体調に異変があった際の報告及び状況経過の確認について、様々な事態を想定し把握に努めております。その他、従業員に向けては以下の取り組みを行っております。

1. 妊婦、育児世帯への休業補償

　政府からの緊急事態宣言の発令を受け、幼稚園や小学校が臨時休園・休校した場合に、保護者である従業員が休職をした際の特別休業手当を、正規雇用・非正規雇用を問わず支給することを決定いたしました。また、産休取得前の妊娠中の従業員に対しては、健康面の安全配慮から原則出勤停止とし、その期間についても休業手当を支給する対象としました。

2. アンケートの実施

　従業員個人の持病や、各家庭等における事情（高齢者と同居、配偶者の妊娠等）についてヒアリングを実施し、出勤が出来ないケースの把握、対応に努めました。

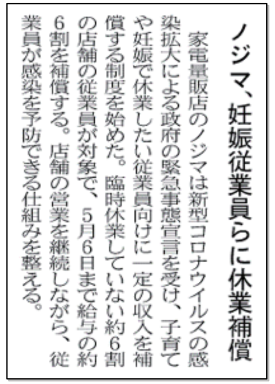
3. 手当

　店頭にて接客に従事する従業員を対象に、出勤に応じた特別手当の支給を実施しました。

4. テレワーク、時差出勤等の実施

　管理部門等のバックオフィスにおいては、テレワーク、WEB会議の活用や、出勤が必要な業務についての交代制シフト、時差出勤を実施しております。

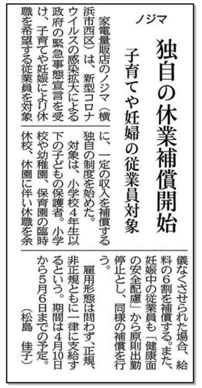
今後も事業継続と将来の発展に不可欠な人材である従業員の安全と健康への配慮、そして雇用の維持に向けて企業として最大限の努力をしてまいります。（2020年6月1日時点）



ノジマ、妊娠従業員らに休業補償

家電量販店のノジマは新型コロナウイルスの感染拡大による政府の緊急事態宣言を受け、子育てや妊娠で休業したい従業員向けに一定の収入を補償する制度を始めた。臨時休業していない約6割の店舗の従業員が対象で、5月6日まで給与の約6割を補償する。店舗の営業を継続しながら、従業員が感染を予防できる仕組みを整える。

2020年4月15日「日本経済新聞」



ノジマ

独自の休業補償開始

子育てや妊婦の従業員対象

家電量販店のノジマ（横浜市西区）は、新型コロナウイルスの感染拡大による政府の緊急事態宣言を受け、子育てや妊娠により休職を希望する従業員を対象に、一定の収入を補償する独自の制度を始めた。

対象は、小学校4年生以下の子どもの保護者。小学校や幼稚園、保育園の臨時休校、休園に伴い休職を余儀なくさせられた場合、給料の6割を補償する。また、妊娠中の従業員も「健康面の安全配慮」から原則出勤停止とし、同様の補償を行う。

雇用形態は問わず、正規、非正規ともに一律に支給するという。期間は4月10日から5月6日までの予定。

（松島　佳子）

2020年4月14日「神奈川新聞」

4 入社式、研修等への対応

ノジマグループでは、2020年4月1日実施の入社式について、感染リスク軽減に向け全国33か所に分散しWEB中継をつなぐ、リアルとWEBの【ハイブリット型入社式】を予定しておりましたが、3月下旬以降の感染拡大を受け、約640名の全新入社員が自宅からWEB参加する方式に急遽変更いたしました。

本来であれば、社会人生活を同期と共にスタートできる晴れの式典ですが、デジタル製品やインターネットサービスを取り扱うグループとして、いち早く新しい方法への挑戦をした結果、新聞・テレビ等の各メディアから注目が集まりました。入社式以降の各種研修についても、全て独自のコンテンツを使ったオンライン形式を実施しております。誰も経験したことの無い困難や不都合を通じて磨かれた感性や斬新なアイデアで、世の中に喜ばれるサービスや商品の開発、提供を通じて社会に貢献し、将来のノジマグループを牽引する世代となるよう、アフターコロナにおける【新常態　出る杭世代】をグループ一丸となって育ててまいります。

入社式、「分散」で安全確保

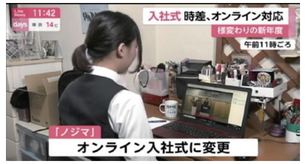
ノジマ　全国33ヵ所で実施

パナソニック　自宅PCから参加

研修、ネットをフ

先輩がライ

2020年3月30日「日本経済新聞」



2020年4月1日「フジテレビ Live News it!」

トピックス

1 日本初の金融と実業による新サービス創出へ（スルガ銀行株式取得）

当社は2019年10月29日にスルガ銀行株式会社（静岡県沼津市 取締役社長 有國三知男、以下「スルガ銀行」）の株式を取得し、議決権の約18.52%を保有する筆頭株主となりました。

2020年5月19日には、スルガ銀行と資本業務提携に関する合意書を締結し、5月26日には金融庁より銀行主要株主の認可を受けました。また、両社の関係強化の証しとして、当社の野島廣司取締役兼代表執行役社長が、スルガ銀行の定時株主総会、取締役会の承認を経て取締役副会長へ就任予定です。

日本で初めてとなる金融と実業による新しいサービスの創出、提供を通じた地域活性化に貢献ができるよう、両社トップを責任者とする提携委員会を設置し、具体的な協議を進めてまいります。

ノジマ、スルガ銀株を追加取得

2019年11月1日「日経MJ」

ノジマ社長を副会長に

スルガ銀、社長には嵯峨氏

2020年4月10日「日本経済新聞」

2 小学校でのプログラミング必修化を支援

当社は2020年4月から予定されていた小学校でのプログラミング授業必修化に向けて、小学生および教職員を対象にプログラミング授業体験会を実施し、多くの方に喜ばれてまいりました。

当社のパソコン教室にてお子様向けのキッズプログラミング教室(N★プロキッズ)・教員の方向けの教育支援講座を開講しているほか、7月に株式会社DeNA等と提携したプログラミングキャンプ、10月に行われたロボット競技会（WRO Japan2019）への参加などイベントも開催し、初めてプログラミングに触れる皆様が安心して取り組めるよう、サポートさせていただきました。今後もノジマ、ニフティを主体に未来を担うこども達の学びを支え、日本の成長に寄与できるよう取り組んでまいります。

3 ノジマ全店でQRコード決済が可能に

当社では、3種類のQR/バーコード決済サービス(auPAY、d払い(R)、PayPay)が全店のPOSレジ端末にて、2019年11月1日（金）より決済可能となりました。

今回の導入に伴い、ノジマではお客様の携帯電話でQR/バーコード決済を利用するための設定サービスを、ノジマの店頭にて行っております。

政府によるキャッシュレス・ポイント還元事業もあり、QR/バーコード決済の普及が進んでいますが、設定方法がわからないお客様も多く、ノジマの店頭で設定サービスを行うことで、初めてご利用になるお客様のお困りごとや不安を解消し、より簡単に安心してご利用いただくことが出来ます。

ノジマにご相談ください
分からない方、不安な方、お手伝いします!
Nojima

4 ノジマがキッザニア東京にパビリオンを出展

当社と、こどもの職業・社会体験施設「キッザニア」の企画・運営を行うKCJ GROUP株式会社は、「キッザニア東京」（東京都江東区）へのパビリオン出展に関して合意し、ノジマがオフィシャルスポンサーとして、『家電専門店』パビリオンをオープンすることを決定しました。

こども達は“家電コンシェルジュ”として、接客マナーや家電の知識、家電コーディネートなどを学んだ後、専用のタブレットを使って、お客様のライフスタイルに合わせたコーディネートプランを作成します。これらの体験を通じて、こども達は、家電の機能や役割を知るとともに、“家電コンシェルジュ”としてのホスピタリティを学びます。

パビリオン出展を通じて、将来の家電物づくりやサービス業界を担う人材が生まれるきっかけになることを期待しております。

※新型コロナの影響で3月19日開業予定でしたが6月中旬開業予定となりました。（6月1日時点）

パビリオン外観イメージ

パビリオン内観イメージ

5 「健康経営優良法人2020」取得

2020年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2020」の大規模法人部門に認定されました。

健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。従業員の安全と健康に配慮した労働環境の整備に努めている点や、生活習慣改善の施策を推進している点など評価頂いております。

ノジマグループでは従業員の健康維持、増進に取り組み、これからも日々改善に努めてまいります。

2020
健康経営優良法人
Health and productivity

6 第3回社内向け婚活パーティー『NOJIKON』開催

当社では社内従業員向けの婚活パーティー『NOJIKON』を開催しています。「従業員に幸せになってもらいたい」という想いから、女性社員の発案により企画され、2017年12月の第1回、2018年11月の第2回に続き2019年11月に第3回が開催されました。男女計80名のノジマグループ従業員が参加し、過去実施回からは数組が婚姻までいたっております。

従業員のモチベーションアップやワークライフバランスの向上につながるユニークなアイデアと、他にない福利厚生で引き続き従業員の幸せをサポートしてまいります。

CSR活動

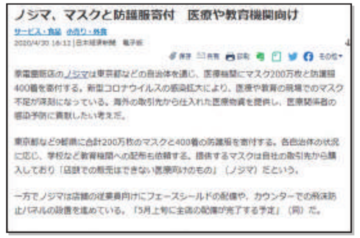
1 新型コロナウイルスにおける地域社会への対応

ノジマグループでは、新型コロナウイルス感染拡大防止の最前線でご尽力されている皆さまに、心より感謝と敬意を表すと共に、医療機関における資材不足の解消に少しでもお役に立ちたいとの想いから、神奈川県や東京都等などノジマ出店の自治体9都県を対象に、サージカルマスク200万枚、防護服400着を寄付いたしました。

また、休校中に児童を預かる小学校等の教育機関に向けても、状況に応じて配布いただけるよう、各自治体に依頼をさせていただきました。当社グループ会社のニフティ株式会社からは、オンライン教育の開始で急速に環境整備が拡充が必要とされている教育機関を対象にネットワーク通信料についての支援も実施することを決定いたしました。

3月には新型コロナウイルス感染拡大に伴う内定取り消しや、就職活動の再開を余儀なくされた学生を対象に、2020年4月新卒入社の特別採用枠を設けました。3月16日の発表後、4月1日入社に向けて受付から選考を実施し、3名が2020年度新卒採用として入社にいたりました。今後も、困難に直面しながらもそれに立ち向かえるようなバイタリティー溢れる人材を、積極的に採用してまいります。

先行きが不透明な状況ではありますが、ノジマグループは地域社会と一体となり、持続的発展に向けて企業の社会的責任を果たしてまいります。


ノジマ、マスクと防護服寄付　医療や教育機関向け

サービス・食品　小売り・外食

2020/4/30 16:11 | 日本経済新聞 電子版

家電量販店のノジマは東京都などの自治体を通じ、医療機関にマスク200万枚と防護服400着を寄付する。新型コロナウイルスの感染拡大により、医療や教育の現場でのマスク不足が深刻になっている。海外の取引先から仕入れた医療物資を提供し、医療関係者の感染予防に貢献したい考えだ。

東京都など9都県に合計200万枚のマスクと400着の防護服を寄付する。各自治体の状況に応じ、学校など教育機関への配布も依頼する。提供するマスクは自社の取引先から購入しており「店頭での販売はできない医療向けのもの」（ノジマ）だという。

一方でノジマは店舗の従業員向けにフェースシールドの配備や、カウンターでの飛沫防止パネルの設置を進めている。「5月上旬に全店の配備が完了する予定」（同）だ。

2020年4月30日「日本経済新聞電子版」

新型コロナで内定取り消し

企業、救済に名乗り

100人規模追加採用も

2020年3月19日「日本経済新聞」

2 台風被害者への家電製品購入支援

2019年秋の台風15号、19号で各地にて甚大な被害が発生したことを受け、罹災証明書をお持ちの上ご来店いただきましたお客様へ、全店舗にて冷蔵庫・洗濯機・テレビ等の生活家電や、パソコン等を特別価格にてご提供させていただきました。

今後も、予期せぬ災害等が発生した際などには、事業展開をさせていただいている地域の皆様に何が出来るかを考え、スピーディーに実行し貢献できるよう、様々な取り組みをおこなってまいります。

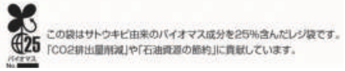
台風15号 首都圏に爪痕

2019年11月1日「日経MJ」

3 レジ袋をバイオマスプラスチックに変更

株式会社ノジマでは、2020年7月1日から始まるレジ袋有料化に伴い、環境に配慮した包装資材へと順次入替を行ってまいります。

プラスチックごみは、その多くがリサイクルされずに環境破壊の一因となっています。また、ノジマモバイル会員様へのオリジナルエコバックの配布なども含めて、今回のレジ袋有料化がプラスチックごみの削減につながる様、お客様と共に環境活動を積極的に進めてまいります。



この袋はサトウキビ由来のバイオマス成分を25%含んだレジ袋です。
「CO2排出量削減」や「石油資源の節約」に貢献しています。

4 スポーツを通じて日本を元気に

◆ノジマステラ神奈川相模原（女子サッカー なでしこリーグ）

2012年に発足した、なでしこリーグ唯一の女子サッカー実業団です。選手は社員としてノジマ店舗等で勤務をしながら、地域イベントや募金活動等の社会貢献や、小学校への巡回教室を通じて女子サッカーの裾野を広げるための取り組みも実施しております。新型コロナウイルス感染予防および拡散防止のため、2020年リーグ開催は延期となっておりますが、開幕をした際には皆様の期待に応えるべく優勝を目指して戦い続けます。

◆ノジマチャンピオンカップ箱根シニアプロゴルフトーナメント

2015年に発生した箱根山火山活動から【箱根を元気に!】をコンセプトに開催された大会です。開催コースは名門「箱根カントリー倶楽部」です。年齢を重ねても楽しめるゴルフを通じて【シニアを元気に】という意味から、シニアツアーを応援しております。2020年大会は感染症拡大の影響を受け、4月開催の見送りをしましたが、再び壮大な箱根で繰り広げられる戦いを楽しんでいただけるよう、次回開催に向けて準備を進めてまいります。

PGA senior tour 2020
nojima Champion Cup

◆横浜DeNAベイスターズ（プロ野球）

2008年より公式ユニフォームスポンサーとして地元球団を応援しております。本拠地の横浜スタジアムで、当社のコンセプトとあわせた「デジタル1番星DAY」の実施や、球団とコラボレーションをした「ベイスターズ家電」の開発も行っております。

プロ野球も開幕が6月19日に延期されておりますが、ノジマは今シーズンもベイスターズと共に戦う準備は完了しております。

◆ノジマ相模原ライズ（アメリカンフットボール Xリーグ）

2011年よりノジマ創業の地、相模原を拠点に活動をしているクラブチームを、ネーミングライツスポンサーとして応援しております。相模原市内を中心に、地域清掃活動や小学校でのあいさつ運動等を通じた社会貢献活動も継続しております。

◆ノジマTリーグ（卓球）

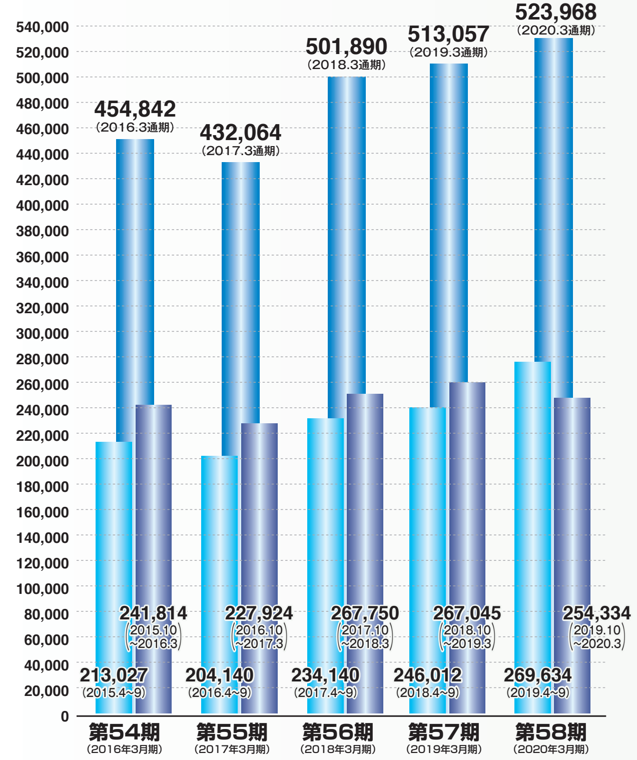
2018年に開幕した卓球「Tリーグ」にタイトルパートナーとして協力を開始しました。多くの日本人選手の活躍から、国内のみならず世界から大きな注目を集めており、リーグが掲げる「世界No.1の卓球リーグを実現する」や「卓球を通じて人生を豊かに」という理念を応援しております。活躍が期待された2020年東京オリンピックは延期となりましたが、2021年にノジマTリーグの選手が世界の強豪を圧倒するシーンが期待されます。

財務ハイライト

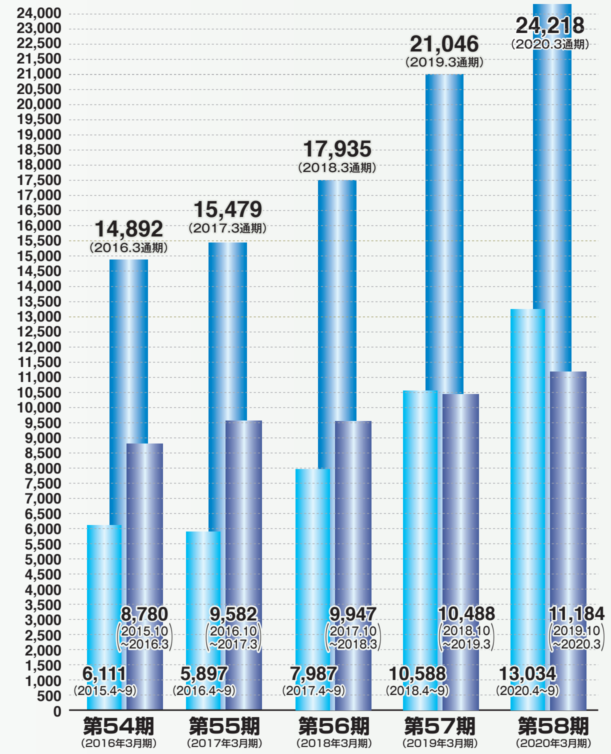
連　結

■ 売上高／5,239億68百万円　■ 経常利益／242億18百万円　■ 純利益／159億11百万円（単位:百万円、単位未満切り捨て）

売上高の推移



経常利益の推移



（単位:百万円、単位未満切り捨て）

連　結	第54期 2016年3月期	第55期 2017年3月期	第56期 2018年3月期	第57期 2019年3月期	第58期 2020年3月期
売上高	454,842	432,064	501,890	513 ,057	523,968
経常利益	14,892	15,479	17,935	21,046	24,218
親会社株主に帰属する当期純利益	13,226	10,158	13,634	14,817	15,911
1株当たり当期純利益(円)	276.59	208.28	275.42	296.83	317.12
総資産額	233,434	245,467	259,756	307,735	286,247
純資産額	46,844	56,855	69,019	81,608	90,268
自己資本比率	20.0%	23.0%	26.2%	25.9%	30.8%

決算の概況

連　結

（単位:百万円、単位未満切り捨て）

連結貸借対照表

	第57期	第58期
資産の部		
流動資産合計	163,169	134,283
固定資産合計	144,565	151,964
資産合計	307,735	286,247
負債の部		
流動負債合計	115,849	114,381
固定負債合計	110,278	81,596
負債合計	226,127	195,978
純資産の部		
資本金	6,330	6,330
剰余金その他	76,129	89,841
自己株式	▲2,448	▲2,358
株主資本合計	80,010	93,814
その他の包括利益累計額合計	▲252	▲5,567
新株予約権	1,453	2,008
非支配株主持分	396	12
純資産合計	81,608	90,268
負債純資産合計	307,735	286,247

第58期は2020年3月31日現在。第57期は2019年3月31日現在。

連結損益計算書

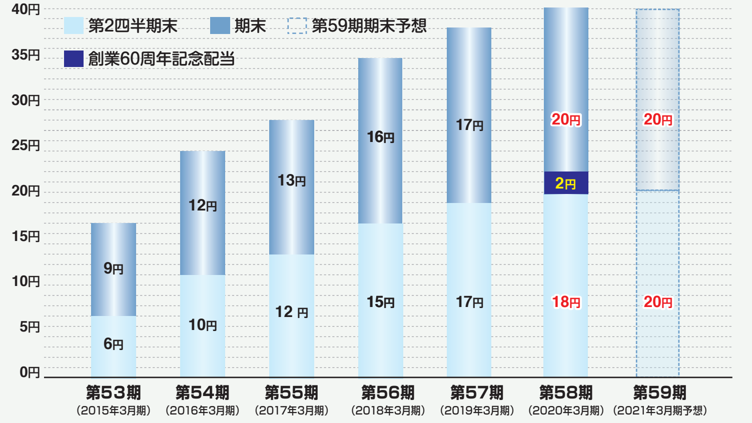
	第57期	第58期
売上高	513,057	523,968
売上総利益	128,721	144,117
営業利益	19,212	22,582
経常利益	21,046	24,218
税金等調整前当期純利益	21,243	23,294
当期純利益	14,820	15,916
非支配株主に帰属する当期純利益	2	4
親会社株主に帰属する当期純利益	14,817	15,911

連結キャッシュ・フロー計算書

	第57期	第58期
キャッシュ・フロー		
営業活動によるキャッシュ･フロー	28,789	38,866
投資活動によるキャッシュ･フロー	▲12,820	▲17,688
財務活動によるキャッシュ･フロー	▲6,152	▲24,283
現金及び現金同等物の期首残高	10,963	20,733
現金及び現金同等物の期末残高	20,733	17,174

第58期は2019年4月1日から2020年3月31日まで。
第57期は2018年4月1日から2019年3月31日まで。

配当金の推移



2015年7月に株式分割（1株を2株）。第53期以前は、株式分割後に換算して表示

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置づけた上で、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保を勘案し、継続して安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

また、当社は、中間と期末の年2回の剰余金の配当を行うことも基本方針としております。なお、剰余金の配当の決定機関は取締役会です。

第59期の配当予想は中間20円･期末20円の計40円としております。